

時の動き

2018年、世界平和へ扉が開く！

朝鮮半島、南北首脳が世界を動かす！

新社会党中野総支部

江原 栄昭

2018年4月27日は世界史に残

る平和の創造への転換点として刻まれるだろう。1953年、南北朝鮮の休

戦協定以降38度線を挟んで緊張状態が続いてきた朝鮮半島だったが、4月

27日に年内の戦争終結を誓い合った。

韓国の文在寅大統領と北朝鮮の金正恩

朝鮮労働党委員長の首脳会談は、世界

中から1000人以上の報道関係者が

両首脳の一言一句を瞬時に報道する壮

大な政治会談を演出する場となった。

この厳然たる事実が世界のいかなる強国と言えども打ち消すことはできな

い。米国のトランプ大統領や日本のアベ首相が強がり言っても、この激流を

止めることはできない。

6・12 朝米会談で

流れ促進を！

あと20日後の6月12日、シンガポ

ールにおいて朝米首脳会談の開催が開

かれる。(予定)

世紀の会談に向けてここ数日、米

国と北朝鮮が会談の延期を示唆して駆け

引きを激化させている。24日、突然

米国のトランプ大統領が会談中止を宣告

した。だが、歴史の歯車は世界平和に

向かって廻り始めている。この拙文が

皆さんの目に触れるころ朝米関係がど

のように展開しているかは樂觀できない。

しかし、歴史に真実は一つしかない米国は世界一の核大国だ！ その米

国が自国の核は温存し、北朝鮮の核は認めない（現在は）、北朝鮮の非核化

が話し合いの前提条件だとしている。

これでは対等な話し合いではない。第

二次大戦後の歴史は米国の世界支配で

あり、国連決議も使い分けしている。

イラクやリビア、シリアやイラン等々

についてはすべてが自国の論理を正当

化している。北朝鮮が非核化を前提に

するはずがない。

したがって朝米対話は紆余曲折があ

るだろう。



板門店における北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長と韓国の文在寅大統領

しかし、世界が注目するこの日、トランプ大統領と金正恩労働党委員長が長く閉ざされた朝米対立の歴史の扉を開くだろう。朝鮮半島の非核化と南北

の終戦、平和協定の締結に向けた話し合いが一步進められるに違いない。朝米両国とも前に進むしかない！世界中が期待している。

朝米に続き日朝会談を！

ところで、日本の安倍政権はこうした世界情勢の大きな変化について行けず、思考停止のまま対話を拒否している。このままではアジアを初め世界から取り残される。

今こそ、日朝正常化に向けて大きく舵を切れ！

北朝鮮の金正恩委員長が「日本と話し合う用意がある」と言ってきたこの機を捉えよ！2002年の小泉訪朝の際、協定した「日朝ピョンヤン宣言」に基づき朝鮮侵略という過去を清算し、戦後処理を行うため真剣に対話すべきだ。平和憲法を持つ日本が独

自外交を展開し、日朝正常化交渉を進めることで日本の存在が鮮明になる。

さらに、その努力の積み重ねによって朝鮮半島の平和が促進されるとともに北東アジアの平和と安全が創造される。

この揺るぎない外交こそが世界平和に貢献できると確信を持つべきである。

世界の流れは力ではない！
対話こそが真の解決をもたらす！

歴史、文化、体制の違いを認めよ！

日本（安倍政権）は世界情勢を切り開く意欲も能力もなく、「圧力をかけ続ける」と言う。嘲笑の対象だ。だが道はある！世界の政治は、それぞれの国の歴史、文化、体制の違いを認め合う秩序を創造するときだ。独自外交で切り開け！

（えびら ひであき）